

令和 2 年

第 4 回国民健康保険運営協議会

議 案

日 時 令和 2 年 8 月 2 4 日 (月) 午後 6 時

会 場 市役所 9 階 議会大会議室

苫小牧市国民健康保険運営協議会

会 議 次 第

1 開 会

2 部長挨拶

3 報告事項

第1号 国民健康保険運営協議会委員の委嘱について

第2号 第6回定例会以降の市議会の結果について

第3号 令和元年度国民健康保険事業会計決算について

4 その他

報告事項第 1 号

国民健康保険運営協議会委員の委嘱について

岡田眞儀委員の退任に伴い、下記の方に国民健康保険運営協議会委員を委嘱しました。

記

加藤 泰 委員
(檜崎健康保険組合常務理事)

任期：令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで

報告事項第2号

市議会の結果について

第6回定例会（令和2年2月20日から3月6日まで開催）

- (1) 令和元年度国民健康保険事業特別会計第2回補正予算

令和2年2月20日 全会一致により原案可決

- (2) 令和2年度国民健康保険事業特別会計予算案

令和2年3月6日 全会一致により原案可決

第7回定例会（令和2年6月11日から6月19日まで開催）

- (1) 苫小牧市税条例の一部改正

令和2年6月11日 承認

- (2) 令和2年度国民健康保険事業特別会計第1回補正予算

令和2年6月11日 承認

- (3) 令和2年度国民健康保険事業特別会計第2回補正予算

令和2年6月12日 全会一致により原案可決

報告事項第2号-2

令和2年度予算委員会の主な答弁内容

| | |
|-------------------|---|
| 都道府県化による影響について | <ul style="list-style-type: none">・市側の事務負担についてはあまり変わっていない状況。・納付金の算定方法や、保険料(税)率の統一については、自治体間の所得や医療費の水準差が大きく、時間を要する見込み。・苫小牧市の次期税率改定は令和4年度の予定。納付金を納めるための税金を確保できるよう、税率を設定する必要がある。 |
| 医療費適正化について | <ul style="list-style-type: none">・レセプト二次点検について、平成30年度の効果額は約9,000万円。令和2年度からは北海道を通じて国保連合会へ委託する。・ジェネリック医薬品の普及率は直近1年間の平均で82.6%で、厚労省の目標値80%は達成している状況。医療費の抑制効果が高い事業であり、さらなる普及に努めていきたい。 |
| 特定健診について | <ul style="list-style-type: none">・令和2年度より、プレ特定健診の対象年齢を35歳以上から30歳以上へ拡大。早期から健康に対する意識づけを行い、特定健診の受診率向上を目指す。・受診率向上の新たな取組として、ナッジ理論と人工知能による独自の解析により通知を送付することにより、他自治体で受診率向上の実績がある事業者への業務委託を予定。 |
| オンライン資格確認について | <ul style="list-style-type: none">・市町村国保や社会保険など全ての被保険者情報を一元的に管理するシステム。令和3年3月より運用開始予定。保険証に代えてマイナンバーカードで受診することが可能となる。・マイナポータルを介して初回登録の手続が必要。保険者として加入者のサポートをしていきたい。 |
| 収納率向上の取組、滞納処分について | <ul style="list-style-type: none">・電話による納付勧奨、口座振替の推進、住所不明者等の実態調査、所得未申告者や社会保険との重複加入の可能性のある方などに対する訪問、電話、文書送付などを積極的に行うとともに、納税課と連携して収納率の向上に取り組んでいく。・キャッシュカードのみで手続ができる「ペイジー」による口座振替の申込が毎年300件弱あり、口座振替の普及拡大につながっている。 |

報告事項第2号-3

第7回定例会への主な提出内容(新型コロナウイルス感染症対策)

令和2年度国民健康保険事業特別会計第1回補正予算

国保に加入している被用者(給与収入のある方)が、新型コロナウイルス感染症により業務に就くことができない場合に傷病手当金を支給するための補正予算を、5月1日付で専決処分し、議会へ報告。

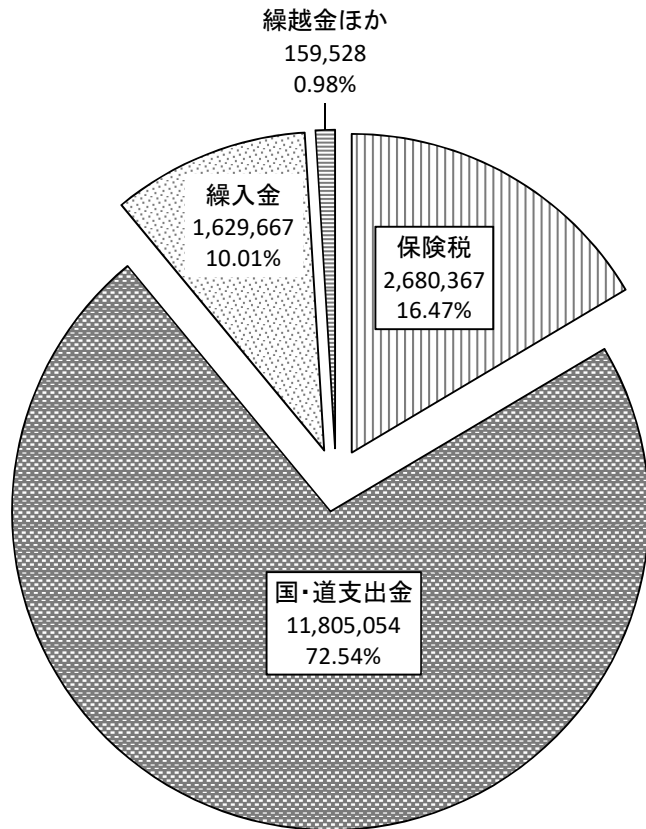
令和2年度国民健康保険事業特別会計第2回補正予算

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少する等した世帯に対し、国民健康保険税の減免を行うための補正予算案を提出。

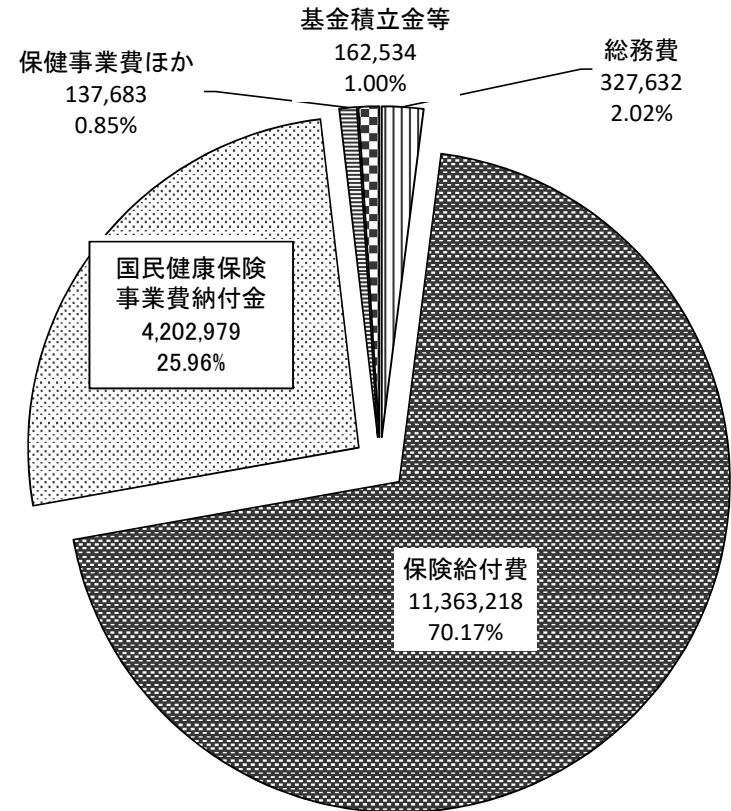
報告事項第3号

令和元年度国民健康保険事業会計決算について

●歳入 16,274,616千円

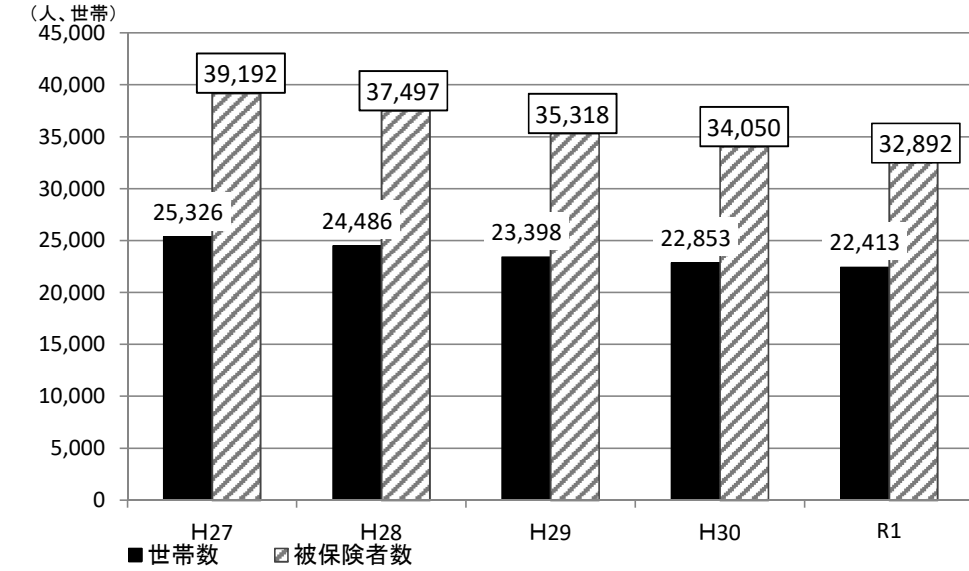


●歳出 16,194,046千円

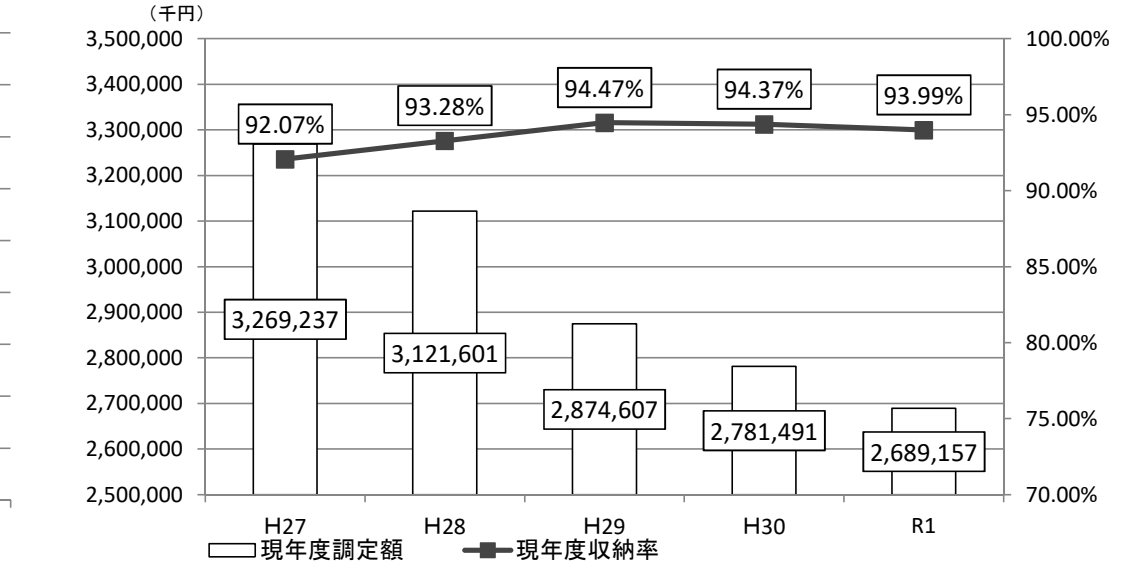


歳入歳出差引 80,570千円 は翌年度へ繰越

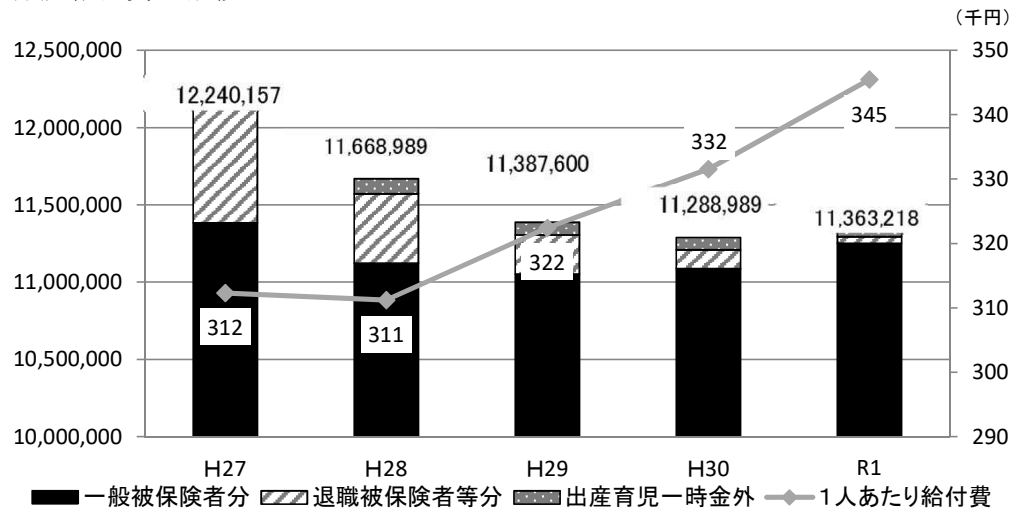
国保世帯数・被保者数の推移（3－2ベース年度平均）



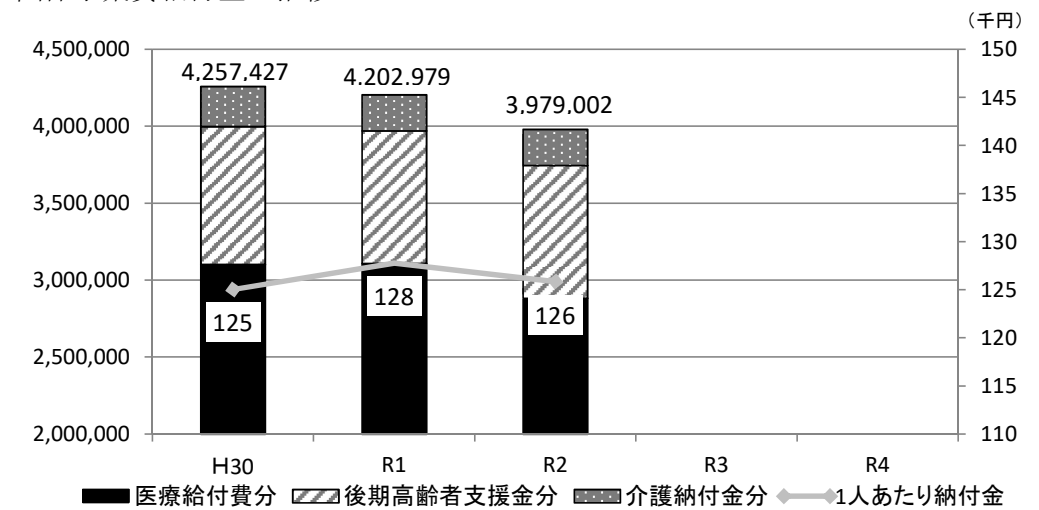
国保税調定額・収納率の推移（現年度分）



保険給付費の推移



国保事業費納付金の推移



| | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 一般被保険者分 | 11,383,948 | 11,122,710 | 11,052,056 | 11,087,333 | 11,252,383 |
| 退職被保険者等分 | 757,708 | 449,136 | 253,835 | 122,027 | 42,266 |
| 出産育児一時金外 | 98,501 | 97,143 | 81,709 | 79,629 | 68,569 |
| 1人あたり給付費 | 312 | 311 | 322 | 332 | 345 |

| | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|----|----|
| 医療給付費分 | 3,101,335 | 3,108,882 | 2,881,670 | | |
| 後期高齢者支援金分 | 896,700 | 860,143 | 864,367 | | |
| 介護納付金分 | 259,392 | 233,954 | 232,965 | | |
| 1人あたり納付金 | 125 | 128 | 126 | | |